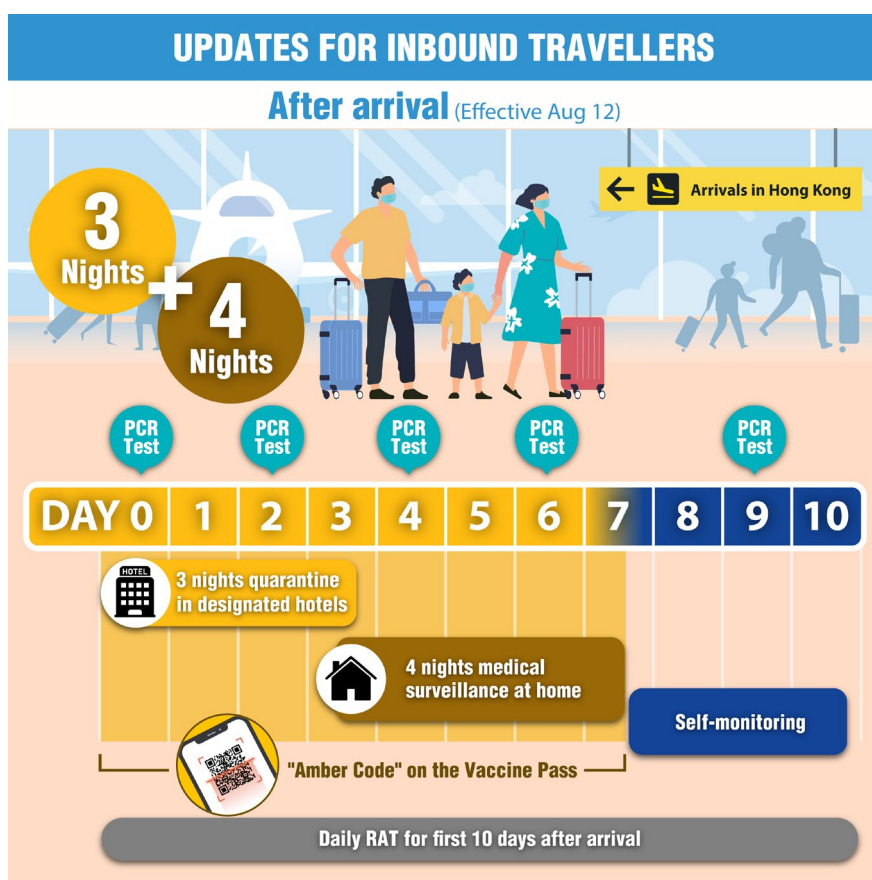


海外からの到着者に対する隔離措置を調整



2022年8月12日（香港時間）から、日本を含む海外からの到着者に対するホテルでの隔離期間が7泊から3泊に短縮され、それに続く4日間は、自宅または隔離ホテル以外のホテルで医学的観察が行われます。関連情報を以下に抜粋しましたので、ご参照ください。

(1) 強制隔離および医学的観察を「3+4」モデルに調整

香港行きのフライトに搭乗する旅行者は、事前にオンライン健康申告 (<https://www.chp.gov.hk/hdf/>) を完了し、それにより入手した QR コードをチェックイン時に提示して航空会社の確認を得ることが求められます。

日本を含む海外からの到着者に対する隔離措置への調整は、8月12日（香港時間）付で実施されます：

- 香港に到着し、1回目の核酸検査を受けた日を0日目とみなします。ワクチン接種状況に関係なく、全ての入境者は同じ隔離措置の対象となります（注：従来は、海外からの到着者でワクチン接種を完全に済ませていない場合、到着時に14日間の強制隔離が必要でした）。

- ・ 3 日間の強制隔離：入境者は指定隔離ホテルで 3 泊の強制隔離を受ける必要があります。検査結果が連続して陰性となった人は、3 日目の午前に強制隔離を終了できます。
- ・ 4 日間の医学的観察：その後、入境者は自宅または自分で手配した宿泊施設で 4 泊の医学的観察を受けます。検査結果が連続して陰性となった人は、7 日目の午前に医学的観察を終了できます。
- ・ 継続的な観察と検査：入境者はその後 3 日間は自己観察を続け、10 日目までの毎日、迅速抗原検査 (RAT) を行う必要があります。9 日目には最後の核酸検査を受けることが義務付けられています。

たとえば、入境者が 8 月 12 日に香港に到着した場合、到着日は 0 日目となります。3 日目 (8 月 15 日) 午前に指定隔離ホテルでの隔離を終え、7 日目 (8 月 19 日) 午前に医学的観察を終了することになります。

(2) 4 日間の医学的観察期間中の「ワクチンパス」制度における「黄色コード」の制限事項

日本を含む海外からの入境者は、「ワクチンパス」制度の下で「黄色コード」に分類されます。「Leave Home Safe」(LHS) モバイルアプリをインストールできるスマートフォンを所有している場合には、同アプリの最新版をインストールまたは最新版に更新し、当該機器がインターネットに接続できることを確認する必要があります。

4 日間の医学的観察期間中、入境者は毎日の迅速抗原検査 (RAT) の結果が陰性であれば外出することができますが、「ワクチンパス」制度における「黄色コード」の制限を受けます：

- ・ マスクを外して行う活動や集団での活動を伴う高リスクの施設、また十分な感染対策が必要なその他の施設には立ち入ることができません。こうした施設には、バーやパブなどの飲食店、フィットネスセンター、屋内娯楽施設、理髪店、美容院などが含まれます。
- ・ 公共交通機関の利用、通勤、スーパーや市場での買い物など、日常に不可欠な比較的低リスクの活動は行うことができます。

医学的観察期間が終了すると、LHS アプリの表示はインターネット接続を介して自動的に「黄色コード」から「青色コード」に戻ります。

詳しくはこちらをご覧くださいー

<https://www.info.gov.hk/gia/general/202208/08/P2022080800803.htm>

<https://www.info.gov.hk/gia/general/202208/08/P2022080800771.htm>

<https://www.coronavirus.gov.hk/eng/inbound-travel.html>